

岡麓 詩と歌人、書家。明治十年二月二日東京生れ。昭和二十六年九月七日自歿（八七七一九五）。本名二郎。別號ニ谷、不毛上、不毛登、傘谷、傘谷子、内録老人、岡生等。寶田彌文、多田親愛の歌學、書道を學ぶ。明治二十二年止岡子規の門に入り根岸短歌會に加入する。二十六年同會機關誌『馬酔木』編輯同人、二十九年彩雲庵を興し出版に從事。大正五年以降歌誌『アララギ』に據る。昭和二十四年日本藝術院會員となる。

著書『寫生文集』（傘谷名、合著・四方大編、明治二十六年九月十八日俳書堂）、藤原成元著『古筆評燈』（本名、校訂解説、大正十四年四月八日古今書院）、歌集『庭苔』（大正十五年十月十八日古今書院）『アララギ叢書』（『入木道』二部集一附本朝能書傳）（校訂、昭和十六年十一月十五日岩波書店）『岩波文庫』（歌集『朝雲』（昭和十七年八月二十日岩波書店）『アララギ叢書』（『新選岡麓集』（昭和十七年九月十日新潮社）『新潮文庫』（『土人根』（昭和二十一年二月二十日八雲書店）『新日本歌集』（『隨筆』『風流』第一輯）（合著、昭和二十一年九月十日風流堂）、歌集

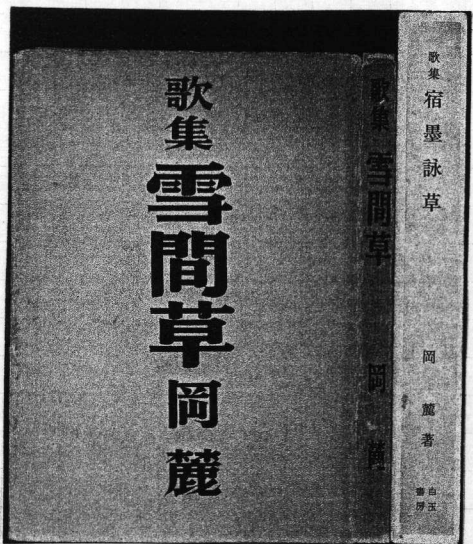
『浦井』（入信歌稿第一編）』（昭和

二十二年九月十五日白王書房）、同

『冬空』（入信歌稿第二編）』（昭和

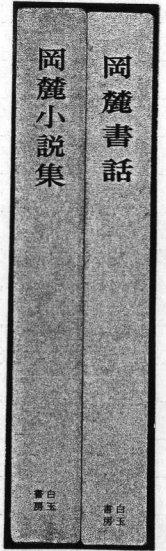
二十五年二月五日海書房）、同

『雪間草』（昭



和二十七年一月十日文谷書房『アララギ叢書』（

『岡麓全歌集』 (昭和二十七年八月二十日中央公論社)、歌集『宿夢
 詠草』 (昭和二十二年十一月七日白土書房)、『止蘭子規』 (昭和二十
 八年十一月二十九日白土書房)、『岡麓著作集』 (第一『岡麓書話』
 昭和四十一年一月十日、第七『岡麓小説集』四十四年八月二十日白土書
 房)等。



岡麓書話

岡麓小説集

白土書房

白土書房